

みんなが主役！地域で支えあうまちづくり！

Vol. 60

2026. 2.15

まちづくり ニュース



府中市社会福祉協議会

この情報紙は、歳末たすけあい募金・市補助金などで発行しています。

誰かの“困った”をあなたの“できる”でつなげてみませんか

協力会員 (有償ボランティア)募集 !!

活動の様子

高齢者や障害のある方、子育ての家庭でちょっとしたお手伝いをする有償のボランティア活動です。1時間700円～の活動費をお支払いします。

空いている時間を活用して活動してみませんか。

月1回でも!
週1回でも!
空いた時間で
活動できます!!



食事作り（下ごしらえ等）
できる方を急募しています。
ぜひ、お問合せください。



高齢者・障害のある方への活動

掃除、洗濯、買い物、食事作り、話し相手、通院・外出付添、庭の草取りなど

登録には「ボランティア・協力会員入門研修」(詳細はP2)を受講することが必要です。
ぜひ、ご参加ください。

子育て家庭への活動

掃除、食事作りなどの日常の家事、おむつ交換、お世話、送迎 など



【問合せ】まちづくり推進係
TEL : 042-334-3040

※点訳、音訳の「まちづくりニュース」もご用意しております。
必要な方は、下記へお問合せください。

編集・発行

社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
府中市府中町1-30 ふれあい会館2階
(日・祝・臨時休館日を除く8:30~17:15)
TEL : 042-364-5382
FAX : 042-362-9090
メール : mail@fsyakyo.or.jp
ホームページ : <https://www.fsyakyo.or.jp>



社協ホームページ



ボランティア・協力会員入門研修

【日 時】 ①2月21日（土）13:30～15:30

②3月17日（火）10:00～12:00

③4月20日（月）13:30～15:30

※内容は毎月同じです。ご都合の良い日程でご参加ください。

【場 所】 ふれあい会館1階 ボランティア活動室

【内 容】 第1部（約1時間）「ボランティア活動について」（無償ボランティア）

第2部（約1時間）「協力会員活動について」（有償ボランティア）

【その他】 ◆研修終了後にボランティアと協力会員の登録を受け付けます。

◆協力会員登録にあたっては、印鑑・身分証が必要となります。

また、介護や保育の資格をお持ちの方は証明書のコピーもあわせて受講時にお持ちください。

【申込み】 まちづくり推進係 TEL : 042-334-3040 FAX : 042-362-9090



災害ボランティアの流れ

①受付

スマホで受付



②マッチング

活動先を選んで



リーダーを決めます



③資器材受取り



資器材に見立てた
カードを使いました

1/18(日)
災害ボランティアセンター
設置運営訓練を行いました

問合せ:府中ボランティアセンター
TEL 042-364-0088
メール go.go.vc@fsyakyo.or.jp

ボランティア役でご参加いただいた皆様、ありがとうございました。
また、今回初めて市民スタッフとして、登録者の方に運営側で参加していただきました。
今後も発災時に備えた取り組みを行う予定です。まちづくりニュース等でもご案内します。

総務



全体の取りまとめや
問合せ対応などをします

ニーズ受付



ボランティアを必要とする方の
相談を受け付けます

2



グループで振り返り

⑥活動報告



活動内容を
報告します

汚れたら
洗います

⑤資器材返却



3

わがまち支えあい協議会

活動紹介！



わがまち支えあいの会 ～小柳・是政・清水が丘エリア～



縁側サロンこれまさ

- ・日時：毎月第1土曜日 14:00～
- ・場所：是政一丁目公会堂
- ・内容：おしゃべり、体操、健康麻雀など
だれでも参加できる地域の居場所です！



八小登校の見守り

- ・日時：週始めの登校日
- ・内容：西門周辺道路沿いの
登校時の見守り



ひがしふちゅう駅前こども食堂(協力)



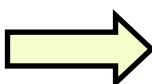
- ・日時：毎月第1水曜日
- ・場所：東府中公会堂
- ・フードパントリー隔月実施

小柳町支え愛の会

- ・内容：30分程度のご近所同士の
「ちょこっとお手伝い」
- ・料金：無料



その他の活動や日時の詳細は、
こちらをご確認くださいか、
お気軽に問い合わせください。



公式LINE



ホームページ



住吉・分梅・南町ささえあい協議会

一人ぼっちを作らない、笑顔あふれる地域をつくる

だれでもふらっとサロン

- 日時：毎月第2火曜日 13:30～15:00
場所：南町西部公会堂 **参加費：100円**
内容：だれでもふらっと来て気軽に交流できる
サロンです！貼り絵や体操などを実施しています。



手作りお仲間広場

- 日時：毎月第4火曜日 13:00～15:00
場所：南町西部公会堂
内容：お喋りしながら編み物などをしています。

ボランティア募集中！



おかげ広場

- 日時：毎週火曜日 15:30～19:00
場所：南町西部公会堂
内容：小学生の子どもと一緒に、
宿題や遊びを通して世代を超えた交流
をします！

フードパントリー

食料を必要とするご家庭へ、食材を無料配布します。

フードドライブ

- 必要な方へ食料を届けるため、ご家庭で食べ
きれない食品を地域の中で集めています。
日時：毎週月・木・金曜日 9:30～16:00
場所：住吉文化センター 困りごと相談会



ちょこっとお手伝い

ちょっと手を借りたいとき、声をかけて
ください。お手伝いに参ります！
ひとりではできなくても、そこは助け
合いで。

詳細はホームページ
をご覧くださいか、お気軽に
お問合せください。



「みんなが元気でいるところ」

岸田 横生（府中第九小学校3年） 体験先：安立園

はじめて安立園に入りました。中は、とても広くて、あとどうはんぱいきにAEDがあつてびっくりしました。おじいさんおばあさんがいるところのドアに、かぎがあるのがなんてだろうとおもいました。おじいさんおばあさんとお話をしました。とくによくきかれたのは、年れいと、学年と、兄弟のことです。何度も同じことをきかれました。パパは、ごはんをいっぱいつくるんだなーと、すごいとおもいました。きゅうけいじかんがおわるとがつきをわたしました。くばりおわるとしきにあわせて合そうをしました。おとのちがいがあっておもしろかったです。そしてママが「このこピアノできます」といってピアノをひいてきました。そのあとマイクでさんぽと、カントリーロードをうたってきました。そしてちょっとずつかえていくひとがいるからおみおくりしました。歩きをおじいさんおばあさんのへやにもっていきました。

安立園は、おじいさんとおばあさんが、元気でいるばしょだとわかりました。95さいのおじいさんに「きみも95さいまで生きるんだぞ」と、言われました。ぼくもがんばろうと、おもいました。また安立園でボランティアがしたいです。ありがとうございました。

「支えられる側から支える側へ」

市川 莉央（明星高等学校2年） 体験先：府中愛児園

私は子どもと関わることが好きで、子どもの日々の成長を少しでもサポートしたいという思いから、今回のボランティアに参加しました。自分が卒園した保育園だったこともあり、当日は楽しみと保育に携わる緊張感で胸がいっぱいでした。初日、自分が受け持つクラスに行くと元気に遊んでいる子や一人でいる子の姿があり、かつての自分を思い出す場面も多くありました。園児たちは初めて会った私に興味津々で、すぐにたくさん話しかけてくれる姿が、不安を一瞬で消してくれたことを覚えています。最初の活動は水遊びでした。どう声をかけていいか戸惑いましたが、子どもたちはそんな私を気にすることはなく思い切り水をかけてきました。水鉄砲で遊んだり水を掛け合ったりしているうちに、気づけば私が一番びしょ濡れになっていました。その中でも「子どもと遊びながら安全を守る」という大切さを感じる場面もありました。室内に戻ると、着替えやブロック遊びに参加しました。初めて会った私に「一緒にやろう」と誘ってくれる子や、ずっとそばにいてくれる子もいて、無邪気さとかわいらしさに心が温かくなりました。お昼ごはんの時間には席をめぐって「一緒に食べよう」と言い合う子どもたちの素直さが微笑ましく、園児の取り合いのようになったのも印象的でした。給食の配膳や食事の様子を見守る先生方の姿からは、子ども一人ひとりに細やかに気を配る大変さと支える仕事の偉大さを感じました。午後はお昼寝の時間でした。絵本の読み聞かせのとき、私の膝に座ってきた小さな子がとてもかわいらしく、読み終えたあとは寝かしつけを手伝いました。私に「順番待ち」をするほど懐いてくれて、とても嬉しかったです。子どもたちが眠っている間にも先生方は保護者への連絡帳を書いたりイベントを考えたりしていく、休む間もなく働いている姿に感心しました。こうした場面から、保育の仕事は想像以上に多岐にわたり、深い責任があることを学びました。2日目は、1日目での学びを活かし「自分にできることを増やそう」と心に決めて臨みました。初日にいなかつた子も登園していて名前を聞いたり遊んだりするうちに仲良くなれました。1日目よりも慣れた分、子どもたちが私に頼ってくれることも増え、喧嘩や困りごとを相談される場面もありました。どう返したらいいか迷うこともありましたが、その度に先生方の対応の的確さに尊敬の気持ちを抱きました。

あつという間の2日間でしたが、学んだことや気づかされたことは数えきれないほどです。最初は保育士を目指していた訳ではありませんでしたが、今回の経験を通して進路の一つに考えたいと思えるようになりました。最後に園児たちから「ありがとうございました」と言われたとき、その素直な一言が胸に響きました。今回のボランティアを通して一番感じたのは、園児として支えられていた立場から、今度は支える立場になったことで初めて分かることがある、ということです。子どもたちの「楽しい」と「安全」を両立させる先生方の姿は本当に偉大で、卒園してから改めてその存在の大きさに気づかされました。卒園した園に高校生として戻り、子どもたちや先生方と過ごした時間は、私にとってかけがえのない経験になりました。これからも、子どもたちからもらった笑顔や学びを大切にし、人との関わりの中で活かしていきたいです。

令和7年度

ボランティア体験感想文

今年度もボランティア体験に多くの皆さんにご参加いただきました。体験後の感想文から一部を紹介します。

協力団体数:54団体

参加者数:110名(小学生～社会人)

感想文提出数:103作品 (令和8年1月末現在)

参加・ご協力ありがとうございました。令和8年度も準備が整い次第ご案内する予定です。

皆様のご参加をお待ちしております。

問合せ:府中ボランティアセンター

TEL 042-364-0088 メール go.go.vc@fsyakyo.or.jp



「保育園ボランティアを通して学んだこと」

田代 実里（高校2年） 体験先：府中市立東保育所

わたしの将来の夢は、子どもや保護者の方に寄り添うことができる保育士になることです。まず、その夢を叶えるための第一歩として、保育士の仕事内容を知り、その仕事を体験してみたいと思い、ボランティアの参加を決めました。

ボランティア1日目の当日の朝、私はとても緊張していました。保育士の方と上手に関わるだろうか、子どもたちと仲良くなることができるだろうか、など見知りの私にとって不安要素が多くありました。しかし、実際に保育所に行ってみると、保育士の方々が温かく出迎えてくださり、その後も仕事内容を優しく教えてくださり安心して体験することができました。また、初めて5歳児クラスの教室に入ったときには、最初こそ園児の子たちに興味津々のキラキラとした目で見つめられ、緊張しましたが、その後徐々に園児の子たちと打ち解けることができました。そして迎えたボランティア2日目の朝、私は1日目とは違い、とてもわくわくとした気持ちでいました。今日はどんな遊びを一緒にしようか、どんな話をしようか、そんなことを考え、心を弾ませながら保育所に向かいました。保育所に着き、教室に入ろうとすると、ボランティアの1日目にお話をした女の子が「先生、おはよう。」と挨拶をしてくれました。その後、教室に入ると、たくさんの子が挨拶をしてくれてとても嬉しかったことを覚えています。その後、一緒に砂場で山を作り笑いあったり、レゴと一緒に家を作ったり、おままごとをして遊んだり、充実したとても楽しい時間を過ごすことができました。そして私は、2日間のボランティア体験を通して、理想の保育士になるために大切にしたいことを2つ学びました。1つ目は、子どもと話すとき

「ボランティア体験を終えて」

村井 汐莉（鷗友学園女子中学校2年） 体験先：府中愛児園

私は今回、府中愛児園でのボランティア活動に参加しました。普段の学校生活では体験できないことが多く、とても新鮮でした。実際に子どもたちと関わる中で、楽しいことも難しいこともあります。活動前は「子どもと遊ぶのは楽しそう」くらいに考えていましたが、実際に体験すると、それ以上に責任の重さや難しさを感じました。

活動では、朝の音読練習に参加したり、自由遊びでブロックやお絵かきをしたりしました。子どもたちは同じ遊びでもブロックで作るものがそれぞれ違っていて、想像力が豊かだと感じました。

お昼ごはんでは、机をふいたり配膳の手伝いをしたりしました。先生方はあらかじめ「多め」や「少なめ」を子どもたちに聞いていて、そうすると準備がとてもスムーズになることを知りました。食べる時は子どもたちの隣に座り、同じペースで食べながらマナーにも気をつけました。自分の行動が周りのお手本になると思うと、普段よりも自然に意識して食べられました。

午睡の時間には寝かしつけをしましたが、なかなか眠れない子もいて、どうしたらよいか分からず少し困っていました。そこで、先生のやり方をまねして、子どもをやさしくとんとんしたり、小さな声で声をかけたりしました。それでもすぐには眠れない子もいて、自分の力不足を感じましたが、安心した表情を見せてくれた時はほっとしました。紙芝居の読みきかせでは、子どもたちが身を乗り出すようにして絵を見ててくれて、真剣に聞いてくれました。

活動で一番難しかったのは、子ども一人ひとりに合った関わり方です。集中できない子や人見知りの子に対して、声をかけるべきか見守るべきか迷いました。たとえばお絵かきをしている子がいても、途中で飽きて他のことをしたくなる子もいれば、ずっと同じ遊びに熱中している子もいました。そちらに対しても声をかけすぎても全く声をかけないのも違うと思い、どう対応するのが正解なのか分からず、もどかしい気持ちになりました。先生方は子どもの様子をよく観察して、その子に合わせて声のかけ方や距離感を変えていて、本当にすごいと思いました。

また、活動の進め方と子どもの気持ちのバランスも印象に残りました。予定どおりに進めることも大切ですが、先生方は子どもの気持ちを大事にし、無理に誘導せず自然に関わらせていました。その姿勢から、相手の気持ちを尊重する大切さを学びました。

今回の活動で、自分の課題も分かりました。声かけや言葉の選び方がまだ上手くできず、子どもの気持ちを理解したり伝えたりするのが難しかったです。もっと経験を積んで、子どもに寄り添える関わりをしていきたいです。

保育の仕事は大変ですが、とてもやりがいがあると感じました。子どもたちと過ごす時間はあつというまで、たくさんの笑顔や元気をもらいました。今回の経験を学校生活や将来にも生かしていきたいです。

は、子どもと目線の高さを合わせるということです。保育士の方々を見ている中で、保育士の方々は子どもと話しているとき、膝をついたりして子どもと目線の高さを合わせていることに気がつきました。そのような姿を見て、私も実践してみると、子どもたちは安心しきった顔で話してくれるようになりました。2つ目は、笑顔でいることを心掛けるということです。2日間、保育所で子どもたちと過ごしてみて、大人の感情はそのまま子どもにも伝わるということを身をもって感じました。私が不安そうな顔をしていれば子どもたちも不安そう、私が笑顔でいると子どもたちも楽しそう、このことに気が付き、大人の何げない仕草が子どもに与える影響は大きいのだと改めて感じました。子どもたちが「楽しい」と感じられるような空間にするためには、笑顔でいることを大切にすることが必要だと学びました。

今回のボランティアに行く前は、「自分は保育士に向いているのだろうか。」と悩むことが多く、人前で「将来は保育士になりたい」と言うことに少し抵抗がありました。しかし、今は堂々と言えます。なぜなら、今回のボランティアで「小さい子が大好きだ」という気持ちを再確認できたから、そしてボランティアがとても有意義で楽しかったから。もしかしたら、保育士という仕事は自分には向いていないかもしれない。でも好き、楽しいという気持ちを大切にして将来に向かって道を歩んでいきたいと思います。

最後にボランティア体験でお世話になった東保育所の職員の方々ありがとうございました。職員の方々が温かく、優しくご指導してくださったおかげで、私は将来保育士になりたいという気持ちがより強くなりました。皆様のような保育士になれるよう頑張ります！本当にありがとうございました。

ボランティア募集情報

介護老人保健施設 美の園・武蔵府中 (片町2)

- ・利用者との話し相手
- ・入浴後のドライヤーかけ、食事準備、下膳のお手伝い
- ・シーツ交換
- ・手工芸作業活動、歌の時間、体操の時間の補助
- ・囲碁、将棋など
- ・ボランティアさんが得意なものを活かす活動



泉苑ケアセンター (武蔵台1)

- ・手芸サークル(折り紙・刺繡・ちぎり絵など)の補助
- ・書道サークルの補助

安立園特別養護老人ホーム (晴見町1)

- ・シーツ交換
- ・洗濯物たたみ
- ・利用者との話し相手
- ・入所者が使用している車いすの清掃
- ・生花 クラブ活動の手伝い



グッドタイムナーシングホーム府中弐番館 (是政1)

- ・レクリエーション(歌レク・簡単な手芸など)
- ・利用者との話し相手
- ・マジックや歌・楽器演奏等



府中市立あさひ苑 (朝日町3)

- | | |
|--------------|-------------------|
| ・習字活動の補佐・片付け | ・音楽活動でのピアノ・楽器演奏・歌 |
| ・湯のみ洗いなど | ・視覚障害のある利用者の補助 |
| ・草笛やオカリナ等の演奏 | ・プランター・植木いじり(生け花) |
| ・利用者との話し相手 | ・入所者が使用する車いすの清掃 |

ウイング (四谷6)

- ・利用者との話し相手
- ・手芸(編み物・ビーズ細工など)・書道など

NEW

たちはなの園白糸台 (白糸台6)

- レクリエーションの補助(カラオケ・書道等)



介護老人保健施設 ふれあいの里 (押立町1)

- ・利用者との話し相手
- ・入浴後のドライヤーかけ
- ・シーツ交換
- ・ボランティアさんが得意なものを活かす活動



特別養護老人ホーム 凤仙寮 (西府町2)

- シーツ交換

アズハイム府中中河原デイサービスセンター (四谷3)

- 利用者との麻雀に参加 点数がわかる方希望



まどか府中 (矢崎町1)

- ・利用者との話し相手
- ・軽作業(タオルたたみなど)
- ・手作業(小物づくり・折り紙など)
- ・カメラマン(散歩の風景撮影)

デイサービスセンター遊・府中 (四谷2)

- 歌・踊り・演奏・マジック・落語等



ディーフェスティリリーフ国立府中 (四谷6)

- ・利用者との話し相手
- ・音楽鑑賞(一緒に歌うなど)・マジック・落語など



わの会デイサービスりんりん (四谷6)

- ・散歩の付き添い
- ・麻雀、囲碁、将棋(どれでも可。午後のみ)
- ・利用者との話し相手
- ・活動の補助(体操、工作、トランプ、かるた、ゲームなど)



府中市立よつや苑 (四谷3)

デイサービス活動補助

- ・お茶出し、湯のみ洗い、昼食の下膳、利用者との話し相手など
- ・将棋の相手
- ・書道の指導、見守り

デイサービス 笑福 (北山町3)

レクリエーション(折り紙・手芸・工作・書道等)

デイサービス グレース小柳 (小柳町1)

- ・利用者との話し相手
- ・散歩の付き添い、お茶出しなど

デイサービス ツクイ府中西原町 (西原町2)

- ・入浴後のドライヤー・ブラッシング
- ・お茶出し
- ・麻雀・将棋での交流
- ・コーラス教室(サークル)のサポート



府中若松苑 (若松町4)

- ・施設内の床清掃
- ・入所者が使用する車いすの清掃

緑苑 (緑町1)

- ・ピアノの伴奏をしながら利用者と歌を歌う
- ・利用者との体操
- ・利用者との編み物



ジョーバラボしんまち (新町1)

利用者による調理活動時の食器洗いや調味料作り

わたしの家府中 (南町6)

車いすの利用者と話をしながらの散歩

こもれび家族 (是政2)

- ・利用者との話し相手
- ・囲碁・将棋・歌・手芸

グループホームよつや正吉苑 (四谷4)

利用者との話し相手

ニチイケアセンター西府 (本宿町1)

マジック・歌・踊り・楽器演奏等

ニチイホーム東府中 (若松町3)

レクリエーション(簡単な手芸・手品・脳トレ・音楽レク・ホワイトボードを使用したレク等)

介護老人保健施設 花水木 (調布市深大寺北4)

- ・利用者との話し相手
- ・麻雀・将棋・手工芸のお手伝い



ソラスト西府 (西府町3)

- ・レクリエーション(折り紙・手芸・工作・書道等)
- ・歌・踊り・演奏・マジック・落語等





＜障害者関係施設＞

府中療育センター（武藏台2）

- ・グループ活動（ゲーム）の補助
- ・通所入浴日の活動（制作・ゲーム・絵本読みなど）
- ・グループ活動（簡単な制作）の補助
- ・グループ活動（本読みや制作・ゲーム等）の補助
- ・グループ活動（散歩・ゲーム・制作等）の補助



ケアチーム大芽（若松町1）

- ・自主製作の製作補助（ミシンや編み物等）、日中活動の補助（レクリエーションや軽作業等）
- ・農作業補助



発達支援つむぎ 府中ルーム（美好町1）

- ・つむぎを利用している未就学児や保護者・きょうだい児とのふれあい（人形劇、絵本の読み聞かせ、昔遊び、外遊びなど）
- ・食育活動の手伝い
- ・戸外活動（散歩・公園遊び）の見守り
- ・畠仕事の見守り



府中市立心身障害者福祉センター（南町5）

＜作業生活実習訓練＞

通常活動（戸外・レクリエーション・音楽・工作・園芸など）の補助

＜子ども関係施設＞

しらとり＜学習サポートサロンSKY＞（武藏台1）

中高生への学習支援と話し相手

＜地域活動＞

SOMPOケア 子ども食堂

月1回、高齢者施設内で子ども食堂を行っています。
【現在募集中の施設】

- ・そんぽの家S府中住吉（住吉町3）毎月第4土曜日
- ・そんぽの家S西府（本宿町2）毎月第3土曜日
- ・そんぽの家S中河原（住吉町4）毎月第2土曜日
- ・そんぽの家S府中南町（南町1）毎月第4土曜日

時間:11:00～14:00

内容:子ども食堂の配下膳・見守り・レクリエーション等

こもれび家族（是政2）

子ども食堂の準備（調理補助・配膳等）

活動日時:毎月第4土曜日9:00～14:00



単発の活動

あけぼの福祉会資源回収

月1回の資源回収です。

職員とボランティアで市内を回ります。

活動日:3月21日（土）・4月18日（土）

9:00～15:30 ※雨天延期 3/28・4/25

集合:府中共同作業所（寿町3）

昼食が付きます。



は～もにい（寿町1）

府中市民桜まつり出展のお手伝い

日時:3月28日（土）・29日（日）

10:00～16:00の内で4～6時間

会場:府中公園（府中町2）桜まつり会場内

内容:は～もにいブースで利用者・職員と一緒にPR・

飲み物やくじ引き販売の手伝い

人数:1～2名



府中市立心身障害者福祉センター（南町5）

＜地域生活支援センターみ～な＞

春休みミニ動物ランド（移動動物園）

日時:3月25日（水）

①10:00～12:00 ②12:45～15:00

③10:00～15:00（昼休憩あり）

会場:府中市立心身障害者福祉センター西隣の広場

※集合は府中市立心身障害者福祉センター口ビ

内容:移動動物園スタッフ補助、会場出入口等案内、

駐車場の案内、準備、片付けなど

人数:①②③で計5名



募金のご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金 令和7年度募金実績額 2,208,460円

皆さまからご協力いただいた募金は、市内の保育園、福祉作業所等の事業費に充てられるほか、災害時の為の準備金としても積立てられます。



歳末たすけあい運動 令和7年度募金実績額 3,664,509円

皆さまからご協力いただいた募金は、当協議会の事業を通して、地域福祉活動に役立てられます。

募金の使いみちの詳細は2次元コードよりご覧いただけます。→



問合せ 総務課 総務係 TEL: 042-364-5137

令和8年度

補償期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日

ボランティア保険のご案内

現在加入されているボランティア保険は、令和8年3月末日までの補償となっています。

令和8年4月からの活動に備え、ボランティア保険の加入手続きを、3月より開始します。

3月中に加入した場合は4月1日から、4月以降に加入した場合は加入翌日から補償が開始されます。

●受付開始：**令和8年3月2日（月）～** ※日曜・祝日を除く

●受付時間：9:00～17:00

●受付窓口：府中ボランティアセンター（府中町1-30 ふれあい会館2階）



★加入する方の氏名・住所・電話番号が必要です。団体で6名以上加入する場合は別紙で名簿を3部お持ちください。

★保険料の支払い方法…窓口にて現金による支払い（領収書は発行できません）
または、郵便局・金融機関等での振込

★記入した申込書の提出と、保険料の支払い（もしくは振込証明書の提出）を窓口にて確認し、受付印を押した加入確認証をお渡しします。

【問合せ】 府中ボランティアセンター TEL: 042-364-0088 FAX: 042-362-9090

まちづくりニュースでは、府中市民を対象とした様々な活動を紹介しています。記事の掲載を希望される団体は、発行前月の20日までにメールまたはFAXで原稿をご提出ください。

※紙面の都合により、記事の内容を一部省略させていただく場合があります。

申込み・問合せ 府中ボランティアセンター

TEL:042-364-0088 FAX:042-362-9090 メール:go.go.vc@fsyakyo.or.jp